

熊本高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	国際化プロジェクトー	
科目基礎情報							
科目番号		TE1002A		科目区分		専門 / 選択	
授業形態		実験・実習		単位の種別と単位数		学修単位: 1	
開設学科		情報通信エレクトロニクス工学科		対象学年		2	
開設期		通年		週時間数		0.5	
教科書/教材		担当教員作成による資料配布					
担当教員		教務係 （または非常勤講師）					
到達目標							
・ 海外の協定校の学生・教職員と活動し、英語で会話しながら異文化に対する理解を深めることを目的とする。 ・ 海外での主な活動として、技術課題解決に取り組むグループ活動、文化施設・工場見学などがある。 ・ 本校では渡航前教育や帰国後の発表会なども行い、異文化理解・国際理解を涵養する。							
ルーブリック							
ガイダンス				到達目標、評価法、履修の注意点などを理解する。			
国際交流活動				・ 本校における活動 海外からの訪問者受入に際し、技術交流及び文化交流活動に参加する。 技術交流では、技術課題解決に取り組み、海外の学生と意見交換等積極的に行う。 分か交流では、日本文化施設見学を通し、訪問者に対し、日本文化に対する理解を深めさせる。 本交流活動を通して得られた知見、知識、経験等を報告できる。			
国際交流活動				・ 海外における活動 海外協定校を訪問し、技術交流および文化交流活動に参加する。 また、ネイティブスピーカーによる英語授業に参加し、英会話力を向上させる。 帰国後は、本校にて本交流活動を通して得られた知見、知識、活動等を報告できる。			
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		・ 海外の協定校の学生・教職員と活動し、英語で会話しながら異文化に対する理解を深めることを目的とする。 ・ 海外での主な活動として、技術課題解決に取り組むグループ活動、文化施設・工場見学などがある。 ・ 本校では渡航前教育や帰国後の発表会なども行い、異文化理解・国際理解を涵養する。					
授業の進め方・方法		(1)英語によるグループ討論ができ、意見をまとめることができる。 (2)英語によるプレゼンテーションができる。 (3)他国の伝統・文化の理解と尊重を通じて、日本の伝統・文化についての理解を深める。					
注意点		・ 本授業では、技術活動に対して得られた成果（50％）、レポートおよび活動報告書（50％）で評価を行う。 ・ 最終的には総合評価として60％以上の評価を得ることで単位認定とする。 ・ 本校での活動、海外協定校での活動のいずれか、あるいは両方に参加することが必須である。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					

		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
		学修成果	活動報告書	合計
総合評価割合		50	50	100
基礎的能力		50	50	100